

## 報告論文様式に関するチェックリスト

番号：                      名前：

※投稿者は、報告論文様式に関する以下の項目について、正しく記載されているか確認し、チェックをした本用紙とともに、投稿原稿と投稿票を事務局に提出して下さい。  
※所定の様式から著しく外れた原稿は、審査対象とならず、受付不可（受付時点でのリジェクト）となります。

- 投稿前にPDF化したファイルを出力して、レイアウト崩れがないかを確認した。（例：文字化け、文字の見切れ等）

### 提出様式について

- A4版縦置きで作成した。
- 余白は天マージン27mm，地マージン22mm，左右マージン各17mmで設定した。
- 22文字(2段組)×42行で設定した。（※ページ設定で文字と行数を指定しても、他の設定が優先され、42行にならない場合があるので、提出前に自身で数えて確認すること。）
- 総頁数は、6頁以内になっている。
- 1頁左上に、西暦と番号を10ptで明記した。
- 各頁の地マージン右下に、頁数／総頁数を明記した。

### タイトルについて

- 題名は20pt，副題は13pt，MS明朝で記載した。
- 英文タイトルと著者名英文表記は、Times New Roman，11ptで記載した。
- 執筆者名は13pt，所属組織名は11pt，MS明朝で記載した。

### 本文について

- 本文は、和文字はJSないしMS明朝，英数字はTimes New Romanで記載した。
- 見出し以外，英数字・記号は半角文字，フォントはTimes New Romanで記載した。（※数式は自由）
- 見出しは，文頭を半角1文字あけた。
- 見出しは，ローマ数字とMS明朝，14ptで記載した。
- 小見出しは，文頭を10.5ptで全角1文字あけた。
- 小見出しは，MSゴシックで記載した。小見出しの数字は，全角文字で記載した。
- 句読点は，全角で「，」「。」と記載した。
- 注が複数行になる場合には，2行目以降，左端の文字を上の片カッコに揃えた。

### 図表について

- 図表は，判読可能なサイズのフォント・凡例を使用し，鮮明である。
- 図表の標題は，MSゴシックで10pt，中央揃えで記載した。
- 表の罫線は，上だけを二重線とし，左右両端には，罫線を引いていない。
- 図表の注は，9pt。複数行になる場合は，2行目以降，左端の文字を上のコロン(:)ないし，片カッコに揃えた。
- 図表と見出しや文章との間は，上下とも1行あけた。

### 引用文献について

- 引用文献のフォントは，和文字はMS明朝，英数字はTimes New Romanで記載した。

## 別紙 1

- 引用文献の標題は、MSゴシックで10pt、中央揃えで記載した。
- 引用文献は、10ptで作成した。2行目以降は、左端を1文字あけた。
- アルファベット順に列記した。
- 和文では、全角のピリオド「.」を用いた。
- 和文雑誌を引用する場合、著者名(西暦)「題名」『雑誌名』巻号:ページ数. (オンラインでも入手可能な場合には、doiをつける) の順に記載した。
- 引用文献の表記は、様式に従って記載した。